

製品名: BAP31 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07465**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	BCAP31
別名	BCAP31; BAP31; DXS1357E; B-cell receptor-associated protein 31; BCR-associated protein 31; Bap31; 6C6-AG tumor-associated antigen; Protein CDM; p28
遺伝子 ID	10134.0
SwissProt ID	P51572
免疫原	抗血清はヒト BAP31 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

背景

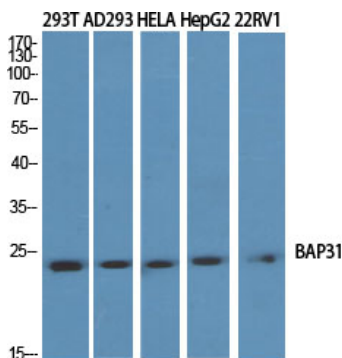
この遺伝子は、B 細胞受容体関連タンパク質 31 スーパーファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質

は、小胞体からゴルジ体への膜タンパク質の順行性輸送と、カスパーゼ 8 を介したアポトーシスに關与する、小胞体の複数回膜貫通タンパク質です。この遺伝子の微小欠失は、新生児疾患である連続 ABCD1/DXS1375E 欠失症候群 (CADD5) と關連しています。この遺伝子の選択的スプライシングは、複数の転写バリエーションを引き起こします。16 番染色体上には、關連する 2 つの偽遺伝子が同定されています。[RefSeq 提供、2012 年 1 月];疾患: BCAP31 の微小欠失は、連続 ABCD1/DXS1375E 欠失症候群 (CADD5) に關与しています[MIM:300475]。患者は重度の新生児低血圧、それに続く發育不全、および胆汁うっ滞性肝疾患を呈する。機能:膜タンパク質を小胞体からゴルジ体へ順行性輸送する役割を果たす可能性がある。CASP8 を介したアポトーシスに關与している可能性がある。PTM:CASP8 および他のカスパーゼによって切断される。類似性:BCAP29/BCAP31 ファミリーに属する。細胞内局在:ER と中間コンパートメント/シスゴルジ体複合体の間をシャトルする可能性がある。サブユニット:BCAP29 とのホモ二量体およびヘテロ二量体。BCAP31、BCAP29、BCL2、および/または BCL2L1 を含む複合体として CASP8 (アイソフォーム 9) に結合します。VAMP3、VAMP1、および膜 IgD 免疫グロブリンと相互作用する。ACTG1 および非筋肉性ミオシン II と相互作用する可能性がある。PTPLB と相互作用します。組織特異性:普遍的

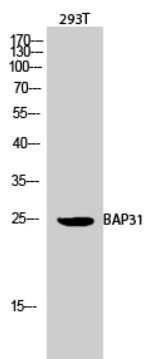
研究分野

細胞生物学

画像データ



1: 2000 希釈の BAP31 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 2000 に希釈した BAP31 ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析